

「出会いを大切にするために」

始良・伊佐教育事務所長 上拂 博文

ドイツ映画『ぼくとパパ、約束の週末』を観た。

自閉症の10歳の少年ジェイソンと、彼の「推しのサッカーチーム探し」の旅に付き添う父との物語。週末ごとに全56チームをめぐる壮大な旅は、決して楽な道ではなかった。こだわりが強く、独自のルールに従ってしか動けない息子と、予定通りにいかない旅路に翻弄される父。旅の途中、重要な仕事を優先させようとする父から漏れた「ジェイソンというより仕事の方が楽なんだ」という言葉。父としての後悔が滲み出る。泣きながらエレベーターに乗るジェイソンの姿を見て、父は気付く。「彼の生きる日常が、まさに“選択肢のないエレベーター”のようなものだった」と。自分の常識や都合で子供を理解しようとすることの傲慢さ。理解や受容がどれほど大切であるかを、この作品は静かに、しかし力強く語っていた。そして、映画の最後には次の言葉が映し出された。

「子供の100人に1人が自閉症。自閉症はスペクトラムであり、生きづらさは環境によって違う。」

教育に携わる私たちへの訴えでもあったと感じた。

一方で、思い出す新聞記事がある。

コーラス演奏会でピアノ伴奏を務める、還暦を過ぎた教え子が、かつて音楽の愉しさを教えてくれた80歳の元教員に送った招待状。その文面には「音楽が好きで続けてこられた原点は先生の授業です」とあった。約60年前、教科の面白さを伝えようと、必死に教材と向き合ってきた教員の思いが、教え子の人生の中で静かに芽を出していた。

「受け容れられる実感」「理解される経験」は、子供たちの心に深く刻まれる。週末のサッカー旅を通して少しずつ社会とつながっていく子もいれば、音楽の愉しさに出会い、自己を表現できる場を得た子もいる。

出会いによって芽生える、その子の人生を動かす力。そして、それを引き出すのは、周囲が向ける“まなざし”であり、理解と受容。

こだわりの強さも、感性の鋭さも、見方を変えれば「才能」の兆し。そこに寄り添い、待ち、時に伴走することで、子供たちはやがて自らの道を拓いていく。理解・受容・支援の積み重ねが、子供たちの“推しの人生”を見つける旅につながっていくのだ。

この夏、子供たちは何と出会うのだろう。それぞれの出会いが、子供たちの未来を創る起点になればと願いつつ、教育に携わる私たちも子供たちとの出会いを新たな教育の出発点に据え続けたい。

文教施設等の利用の促進を!～この夏、ぜひご活用ください!～

県有の7つの常設展示施設において、県内にお住まいの小・中・高校生（18歳以下）は、常設展示施設等の土・日・祝日の入場料が無料となります。施設を利用し、郷土についての学びを深め、ふるさとを愛する心を育みましょう。

※ 入場時に、年齢や住所を確認できる書類の提示が必要です。

- ◎ 歴史・美術センター黎明館【鹿児島市】
- ◎ 県立博物館プラネタリウム【鹿児島市】
- ◎ フラワーパークかごしま【指宿市】
- ◎ 上野原縄文の森【霧島市】
- ◎ 霧島アートの森【湧水町】
- ◎ 屋久島環境文化村センター【屋久島町】
- ◎ 奄美パーク【奄美市】



「学習者主体の授業」実現プロジェクト ～子供の学びの姿から始まる校内研修推進プロジェクト～

昨年度から始まった「学習者主体の授業」実現プロジェクト。そのねらいと今年度の重点は、以下のとおりです。

○ ねらい

- 教師集団の同僚性を構築する校内研修を契機として、学力向上に向けた組織的な取組を支援する。
- 教育事務所による地域の特性に応じた「学習者主体の授業」実践校区の実践を県下に広げる。

教科の枠を超えて教師一人ひとりが学び合い、子供たちの視点から議論し合う文化を本県の学校に根付かせ、県内の教員の授業力及び児童生徒の学力の向上に資する。

○ 令和7年度の重点

～子供の学びの姿と教師の学びの姿は相似形～

「学習者主体の授業」実現プロジェクトの、子供の学びの姿を見とり、教科の本質に迫る授業改善につながる重要性や対話を通して教職員集団の同僚性を構築する校内研修のよさを県下全域に広げ、学力向上へとつなげていく。

始良・伊佐地区では、モデル校区を始良市立帖佐中学校区、実践校区を霧島市立国分中学校区、伊佐市立菱刈中学校区として、プロジェクトを推進していきます。1学期は、始良市立帖佐中学校と霧島市立国分中学校で研修を行いました。

帖佐中学校では、3年生保健体育科「性感染症とその予防」、国分中学校では、1年生理科「動物の分類」の授業が行われました。授業づくりにおいては、県教委や事務所、各市教育委員会も関わりながら、各学校の教科部や研修部を中心として、チームとして準備を進めてこられました。当日は、両授業とも生徒が自ら「問い」をもちながら、主体的に学習を進めていました。また、グループの話し合いでは、生徒が根拠を基に自分なりの考えを伝え合いながら、協働的に学ぶ姿が見られました。

その後、帖佐中学校では鹿児島大学廣瀬准教授、国分中学校では始良・伊佐地区推進ティーチャーの帖佐中学校染谷教諭を全体のファシリテーターとして授業研究が進められました。子供の姿を基に協議を行うことで、小中や教科の枠を超えて、自然と席を立ち、前のめりになって語り合う先生方の姿が見られました。子供の姿から教師の手立てについて考え、今後の展望（短期・長期）まで話し合うことができました。両中学校共に各グループのファシリテーターが充実し、深まりのある授業研究となりました。研修会での学びが各学校にも広がってほしいと思います。

2学期以降は以下の日程で研修会を実施します。オンライン配信や Teams 等を活用して、成果を還元していく予定です。

- 帖佐中学校区 建昌小学校 9月29日(月) 松原なぎさ小学校 10月27日(月)
- 国分中学校区 向花小学校 11月17日(月)
- 菱刈中学校区 菱刈中学校 9月8日(月)、1月26日(月)

各学校でも「学習者主体の授業」実現のための取組を進めていると思います。ぜひ、一緒に授業づくりや研修の在り方等について考えていきましょう。



【帖佐中学校授業研究の様子】



【国分中学校授業研究の様子】

児童生徒への性暴力は絶対にゆるされない！

教師である前に、社会人として、人として

- ・ 子供たちの信頼を裏切る行為は、教育の根幹を揺るがします。

性的な言動・接触は

- ・ 冗談でも絶対にゆるされません。
- ・ 「教育的指導」は免罪符にはなりません。

教師の服務規律を再確認！

- ・ 公私のけじめをつける。
- ・ SNS・私的連絡は原則禁止
- ・ 二人きりの空間・状況をつくらない。
- ・ 感情的な接近を戒める。



あなたの行動は
見られている。

シリーズ！ 始良・伊佐教育事務所員が紹介する 私の元気の出る言葉⑱

「ピンチはチャンス」

これまでの人生の中で、幾度となく出合ってきた「ピンチ」。「ピンチ」に出合う度に、冷や汗をかき、心臓がバクバクと音を立て・・・、ということを繰り返してきたように思います。しかし、この言葉に出合ったとき、自分の考え方が180度変わりました。「ピンチ」を自分が成長する「チャンス」と捉えることで、その出来事に対して、少しずつポジティブに考えられるようになってきました。今でもピンチは立て続けに襲ってきます。それを自分が成長するチャンスと捉え、乗り越えられると信じて何事にも取り組んでいきたいです。(G. M)

令和7年度 地区研究公開校の取組のポイント紹介

学校名	研究領域 (教科等)	公開日	研究テーマ等	取組のポイント
霧島市立 天降川小学校	道徳教育 (地区道徳教育研究会会場校)	令和7年 6月27日	学び合いを重視した、主体的・対話的な授業の創造 ～考え、議論する道徳の授業づくりを通して～	○ 教師の役割「聴く・つなぐ・もどす」を意識した授業づくり ○ 分からない子の発言で進める授業づくり ○ 「聴き合う関係づくり」の継続的な指導
霧島市立 小浜小学校	学力向上 (授業研究研修)	令和7年 11月13日	仮説検証的な授業づくりによる授業改善の実現 ～児童が「楽しい」と思える算数科の授業づくり～	○ 児童が主体的に取り組む時間の確保(時間的要素) ○ 教師が「何を学ばせるか」を明確にし、児童が「どのように学ぶか」を選択・決定する場の確保(ファシリテーター的要素) ○ 児童に、自身が解決したい課題を明確にもたせ、他者と協働して課題解決に向かう場の設定(協働的な学びの要素)
霧島市立 溝辺小学校	生徒指導 (魅力ある学校づくり)	令和7年 11月28日	誰もが楽しく通える「魅力ある学校づくり」を目指して ～魅力ある授業づくりを中心とした「居場所づくり」と児童の主体的な活動を通した「絆づくり」～	○ 生徒指導の4つの視点を意識した魅力ある授業づくり(算数科・学級活動) ○ 生徒指導の4つの視点を意識した絆づくり(児童会活動)
始良市立 建昌小学校	学習者主体の授業	令和7年 12月5日	主体的に学習に取り組み、「智をみがく建昌の子の育成」 ～学びの変容を捉え、自己調整を図る授業を通して～	○ 振り返りの工夫 ○ 見通す・選択する場の工夫 ○ 環境の工夫
始良市立 三船小学校	学力向上 (国語科)	令和8年 2月6日	文章を正確に理解し、自分の思いや考えを適切に表現できる児童の育成 ～「螺旋的・反復的な指導」を通して～	○ 読解力に関する児童の実態把握と誤答分析 ○ 読解指導に関する系統性の把握と効果的な指導法の研究

夏の事故防止について(熱中症・交通事故・水難事故)

「夏の事故」に注意!!

「夏」、「多発」、「事故」、「児童生徒」をキーワードにしてネット検索をしてみると、上位に出てくるのが「**熱中症**」、「**交通事故**」、「**水難事故**」です。毎年様々な対策を講じているにもかかわらず、残念なことに、これらの事故で小・中学生が命を落とすケースが後を絶ちません。これらの事故による被害児童生徒を出さないよう、引き続き、未然防止に注力してまいりましょう!!



大人も子供も「**正常性バイアス(※)**」を取り除こう!!

※ 人間が生活する上での多くの判断や心理的ストレスの全てに対して、過敏に反応しなくても済むように、ある程度の範囲は正常なものとして考え、ふるいにかけることで、「心の平穏」を守ろうとする脳の機能で、「自分は安全」「これくらいなら大丈夫」と考えてしまう。(「文部科学省×学校安全」より)

対策①

「**我がこと**」、「**我が身にも起こりうること**」と感じてもらおう、様々な機会を捉えて、**繰り返し啓発**しましょう!!
(夏休み中も安心メール等で日常的に注意喚起するなど)

全校児童生徒など、全体に伝えるだけの指導で終わっていませんか?!

対策②

過去の事故発生事例(発生要因)等を踏まえ、**具体的な指導・注意喚起**に努めましょう!!

事故発生の傾向を知っておくことで、適切な予防策を講じることができます!!

熱中症



- ① 事故防止について教職員や部活動の指導者等で共通認識
- ② 暑さ指数(WBGT)に基づいて活動実施を判断
- ③ 児童生徒へ適切に指導

学校教育活動における熱中症事故の防止について(R7.5.8, 県教育委員会)

交通事故



【児童生徒への重点指導内容】

- ① 道路への飛び出しの厳禁
- ② 安全確認厳守・道路の正しい横断
- ③ 自転車乗車時のヘルメット着用
- ④ 「自転車安全利用五則」の徹底

令和7年度児童生徒等「交通事故0月間運動」実施要綱(R7.5.29, 県教育委員会)

水難事故



【児童生徒への重点指導内容】

- ① 遊泳禁止区域や危険区域では、絶対に「泳がない。」「遊ばない。」の徹底
- ② 一人で水泳・水遊びをさせないことの徹底
- ③ 海や川で泳ぐことに対する危険予知・危険回避能力の育成

令和7年度児童生徒等「水難事故防止運動強調期間」実施要綱(R7.5.27, 県教育委員会)

指導者が**十分徹底できていない**と考えられる対策

- 活動時間の変更、縮減
- 身体冷却(送風、水の準備)
- 暑熱順化
- 活動前の水分補給
- 健康チェック
- WBGTの活用

(スポーツ現場における熱中症予防に関する実態調査(2024), 日本スポーツ協会)

昨年、本県における小中学生の交通事故は小学生1月、中学生9月(R5年度は8月)に最多発生!!
小学生は横断中、中学生は自転車に起因する事故が最多!!
(県警による統計資料, R7.2月未現在)

学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き(R6.4更新, 文部科学省)

子供の水難事故の6割は、河川と湖沼池!!
大人(家族連れ等)がいても事故数は多い!!
“大人がいるから安心”ではなく、**大人・子供共に安全管理を行うことが重要!!**
(「No more 水難事故」、河川財団)



水難事故2024
(公益財団法人河川財団)

「魅力ある学校づくり」について

「魅力ある学校づくり」の理念と手法

子供と教師にとって「魅力ある学校」にするために、子供の声を聴く「意識調査」を指標として、教育活動の改善，見直しを行う。

※ 「全ての児童生徒が対象」，「全ての教職員で行う」，「全ての教育活動で行う」

具体的な進め方の例

① 子供たちの1年後のゴールイメージ，その成長を支えるための具体策を話し合う。

※ 子供たちのゴールの姿とその成長を支えるための教師の取組

② 4つの調査項目からなる「意識調査」により子供の声を聴く。

ア 学校が楽しい

イ みんなで何かをするのが楽しい

ウ 授業に主体的に取り組んでいる

エ 授業がよくわかる

③ 「意識調査」の結果を基に具体策を話し合う。

※ 重点とする項目を②のイ～エの中から1つ選び，具体策を決める。

④ 「意識調査」の結果を分析して具体策の検証を行う。

※ 具体策の検証後，新たな重点とする項目の具体策を再検討する。

「チーム学校」で共通理解・共通実践を！

「サポート訪問」をぜひご活用ください！

～ 学習指導 ～

- ★ 学校の勤務が初めてなので授業の進め方に不安があります。
- ★ 日頃の授業の悩みを聞いてほしい。
- ★ 指導案の書き方を学びたい。など

～ 学級経営・生徒指導 ～

- ★ 充実した学級経営を行いたい。
- ★ 子供への接し方で悩んでいます。
- ★ 子供たちの自尊感情や自己有用感を高めたい。など

～ 年次別研修・校内研修 ～

- ★ 年次別研修（フレッシュ・ステップ・パワー）の授業にアドバイスがほしい。
- ★ 校内研修の進め方に迷っています。
- ★ 教育論文や実践記録の書き方を教えてほしい。など

指導案 なし！

準備物 なし！

遠慮 なし！



いつでも・だれでも・何回でも 【指導主事等が相談にのります！】